

使用教科書：（東京書籍 701 「新編現代の国語」）

副教材：（NHK出版 高等学校 新編 現代の国語 学習書、浜島書店 新訂版 最新国語便覧、プリント）

教科 国語

の指導目標：

- （1）生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- （2）生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- （3）言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
必修科目のため、入学初年度に履修することが望ましい。	2	年 6 通	年 2 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限	スクーリング					備考	
						1	2	3	4	5		
前期	① 自己を見つめる 『ルリボシカミキリの青』 漢字の書き取り	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	自分の好きなことを追求することの大切さを説き、真理を求める態度や豊かな情操を涵養することに資する文章を通し、自分に当てはめて考える。	第1回	5月28日	5月2日	5月9日	5月16日	5月23日			
	② 他者に出会う 『水の東西』 漢字の書き取り	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	水を鑑賞するという行為をもとに、日本と西洋との文化の違いを比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	第2回	6月5日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日			
	③ 社会と関わる 『鍋洗いの日々』 漢字の書き取り	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	調理師として一人前になる道を切り開いた体験談を通じて、働く人の仕事に対する思い、自分の将来の職業等について考えるきっかけとする。また、自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。	第3回	7月3日	6月27日	7月4日	7月11日	7月18日			
	定期考査	前期試験 9月の土曜	試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表									
後期	④ 視野を広げる 『無彩の色』 漢字の書き取り	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	灰色の美しさに価値を見いだす日本の伝統的な色彩感覚について論じる評論を読み、具体例の役割を押さえつつ、筆者の価値観と主張をつかむ。	第4回	10月9日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日			
	⑤ 世界とつながる 『りんごのほっぺ』 対義語	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	疎開先の広島で原爆によって亡くなった幼なじみの少年との思い出やその後のいきさつをたどりながら、平和を願い続ける筆者の思いを述べた文章を読み、出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。	第5回	11月6日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日			
	⑥ 世界とつながる 『美しさの発見』 漢字の読み（難読語）	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。	第6回	12月4日	11月28日	12月5日	12月12日	12月19日			
	定期考査	後期試験 1月～2月の土曜日	試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表									

※視聴メディア(NHK高校講座)については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(現代の国語は60%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が60%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

#### 観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読み方に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ伝えようとしている。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
定期検査点とレポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。 学年末の成績が著しく悪い場合は、単位修得に向けての機会を設けることがある。

使用教科書：（東京書籍 701 「新編言語文化」）

副教材：（NHK出版 高等学校 新編 言語文化 学習書、浜島書店 新訂版 最新国語便覧、プリント）

教科 国語

の指導目標：

- （1）生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- （2）生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- （3）言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
必修科目のため、入学初年度に履修することが望ましい。	2	年 6 通	年 2 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限	スクーリング					備考	
前期	① 古文入門 古文の世界へ 『児のそら寝』 『絵伝師良秀』 古文学習のしるべ1 漢字の書き取り	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。	第1回	5月28日	5月2日	5月9日	5月16日	5月23日			
	② 漢文入門 漢文に親しむ訓読の基本 故事成語 古文学習のしるべ2 漢字の書き取り	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。	第2回	6月25日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日			
	③ 詩歌 命をうたう短歌・俳句 詩『冬が来た』 漢字の書き取り	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 比喻とリフレインの効果を理解して詩を読み味わい、作者のものの感じ方について考える。	第3回	7月23日	6月27日	7月4日	7月11日	7月18日			
	定期考査	前期試験 9月の土曜	試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表									
後期	④ 小説 葛藤する心 『羅生門』 芥川龍之介 漢字の書き取り	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。	第4回	10月29日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日			
	⑤ 漢詩 漢詩を味わう 論語のことば 絶句と律詩 論語 慣用句	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かにする。	第5回	11月6日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日			
	⑥ 詩歌 うたの心 折々のうた 古文学習のしるべ3 漢字の読み（難読語）	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	第6回	12月4日	11月28日	12月5日	12月12日	12月19日			
	定期考査	後期試験 1月～2月の土曜日	試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表									

※視聴メディア(NHK高校講座)については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(言語文化は60%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が60%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 常用漢字の読み方に慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	進んで歴史的仮名遣いや訓読のきまりについて理解し、学習課題に沿って古典のおもしろさを読み取ろうとしている。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
定期考査点とレポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。 学年末の成績が著しく悪い場合は、単位修得に向けての機会を設けることがある。



後期	⑦ 時代をひらく 茂木 健一郎「最初のペンギン」 本川 達夫「豊かさとは生物多様性」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。  論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。	第7回	10月15日	10月3日	10月10日							
	⑧ 新しい視点から 岸 正彦「物語の外から」 小池 昌代「カフェの開店準備」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。  日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。	第8回	10月29日	10月17日	10月24日							
	⑨ 科学と人間 石黒 浩 「鏡としてのアンドロイド」 矢野 茂樹 「ロボットが隣人になるとき」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。  哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。	第9回	11月2日	10月31日	11月7日							
	⑩ 豊かな認識 内田 樹 「言葉は『もの名前』ではない」 小川 眞理子 「科学的『発見』とは」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。  本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	第10回	11月6日	11月4日	11月11日							
	⑪ 知のゆくえ 吉見 俊哉 「知識における作者性と構造的性」 姜 尚中「もう一つの知性」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。  科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。	第11回	12月10日	11月28日	12月5日							
	⑫ 明日をみつめて 岩井 克人「ホンモノのおカネの作り方」 若林 幹夫「未来のありか」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。  小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。	第12回	12月4日	12月2日	12月9日							
定期考査	後期試験 1月～2月の土曜日 試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表													

※視聴メディア(NHK高校講座)については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(論理国語は60%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が60%以上であっても取り組み方によっては再提出となる可能性がある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
指示された言葉の意味と働きを理解している。また、文章の構成や表現、接続の仕方とも理解している。	各単元の教材を、論理的、批判的に読み取り、想像力を養い伸ばし、伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
定期考査点とレポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。 学年末の成績が著しく悪い場合は、単位修得に向けての機会を設けることがある。

使用教科書：（ 第一学習社 710 『高等学校 標準 文学国語』 ）

副教材：（ NHK出版 高等学校 標準 文学国語 学習書、プリント ）

教科 国語 の指導目標：

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
「現代の国語」および「言語文化」、または「国語総合」を履修後に履修すること。	4	年 12 通	年 4 回以上	※

	スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限			スクーリング			備考
					提出	提出	提出	出席	出席	出席	
前期	① 詩 吉野 弘「生命は」 黒田 三郎「そこにひとつの席が」 高階 紀一「食事」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	詩の構成や表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 作品に表れているものの見方や感じ方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景を踏まえて解釈を深める。	第1回	5月14日	5月2日	5月9日				
	② 随想 観世 寿夫「花のいざない」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	日本の伝統文化について論じた文章に触れ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 「花」が人の心にどのような影響をもたらしているかについて、自身の経験をもとに文にまとめる。	第2回	5月8日	5月16日	5月23日				
	③ 小説 芥川 龍之介「鼻」(1)	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、人間、社会、自然などに対するものの見方感じ方、考え方を深める。 鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。	第3回	6月1日	5月30日	6月6日				
	④ 小説 芥川 龍之介「鼻」(2)	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について理解を深める。 典拠となった作品と比較することを通して、作者の意図や作品の解釈について理解を深める。	第4回	6月25日	6月13日	6月20日				
	⑤ 小説 夏目 漱石「こころ」(1)	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	第5回	7月9日	6月27日	7月4日				
	⑥ 小説 夏目 漱石「こころ」(2)	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する。 場面ごとに展開を読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深める。	第6回	7月23日	7月11日	7月18日				
定期考査	前期試験 9月の土曜	試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表									

後期	⑦ 小説 内海 隆一郎「相棒」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	心情の機微を表す語句や表現の技法を理解する。 小説における構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。 登場人物の心情と行動の変化を読み取り、作品の題名に込められた意味を考える。	第7回	10月15日	10月3日	10月10日						
	⑧ 論説 佐藤 雅彦「物語を発現する力」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	物語が人間にとって持つ意味を考える。 文体や表現の方法に注意して、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。 本文中の例を参考にして、課題に沿って物語を創作する。	第8回	10月29日	10月17日	10月24日						
	⑨ 小説 中島 敦「山月記」(1)	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、人間、社会、自然などに対するものの見方感じ方、考え方を深める。 登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を適切に捉える。	第9回	11月12日	10月31日	11月7日						
	⑩ 小説 中島 敦「山月記」(2)	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	教材全体の構成を段落関係から読み取り、表現の特色や作品の主題について考える。 典拠となった作品と読み比べることを通して、主題の違いや作者の工夫を考える。	第10回	11月26日	11月14日	11月21日						
	⑪ 小説 角田 光代「旅する本」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 自分自身の変化を実感させる「もの」について、自身の経験を振り返り、説明する。	第11回	12月10日	11月28日	12月5日						
	⑫ 詩 茨木 のり子「わたしが一番きれいだったとき」 谷川 俊太郎「死んだ男の残したものは」 萩原 朔太郎「こころ」 中原 中也「汚れつちまつた悲しみに……」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	詩の内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 象徴的な表現を読み取り、作品世界や作品に込められた心情などを理解する。	第12回	12月4日	12月2日	12月9日						
定期考査	後期試験 1月～2月の土曜日 試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表												

※視聴メディア(NHK高校講座)については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また、学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また、学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。または、Aのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたレポートである。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。または、Bのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたレポートである。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。または、再提出されたレポートである。再提出されたレポートは、A～Cのレベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(文学国語は60%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるレポートである。また、正答率が60%以上であっても、取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

#### 観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
文学的な文章の種類や特徴について理解を深めている。語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。心情の機微を表す語句、語彙、表現の技法を理解している。	内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察している。	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。人間や社会に対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。

評定の方法など(前期評価・後期評価)
定期考査点とレポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。 学年末の成績が著しく悪い場合は、単位修得に向けての機会を設けることがある。

使用教科書：（第一学習社 720 高等学校 標準 古典探究）

副教材：（NHK出版 高等学校 標準 古典探究 学習書、浜島書店 新訂版 最新国語便覧、プリント）

教科 国語 の指導目標：

- （1）生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- （2）生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- （3）言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の指導目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体性・学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

履修の留意点	単位数	レポート提出規定通数	スクーリング出席規定回数	視聴メディア
「現代の国語」と「言語文化」もしくは「国語総合」履修後に履修すること。	4	年12通	年4回以上	※

スクーリング丸数字・指導単元	指導方法	指導（学習）内容	レポート	提出期限	スクーリング	備考
① 古典の基礎 説話 『古本説話集』 『古今著聞集』	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。	第1回	5月14日	5月2日 5月9日	
② 和歌 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	第2回	5月28日	5月16日 5月23日	
③ 漢文 故事・寓話 『歴代名画記』 「画竜点睛」 『唐詩紀事』 「推敲」 『列子』 「朝三暮四」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	訓読のきまりについて理解を深める。現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解する。	第3回	6月11日	5月30日 6月6日	
④ 物語 『伊勢物語』 「初冠」「小野の雪」 和歌を詠む・解説する	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	文語のきまりと歌物語の特徴について理解を深め、語句の量を増やし語彙を豊かにする。作品や文章を多面的・多角的な観点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。	第4回	6月25日	6月13日 6月20日	
⑤ 漢文 漢詩の鑑賞 『絶句』 『峨眉山月歌』 『春夜』 『不出門』	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	漢詩の特徴・表現の特色および我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。漢詩を鑑賞し、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。	第5回	7月9日	6月27日 7月4日	
⑥ 随筆 『方丈記』 「ゆく川のながれ」 「安元の大火」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	作品や文章の種類とその特徴および表現の特色について理解を深める。鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。	第6回	7月23日	7月11日 7月18日	
定期考査	前期試験 9月の土曜	試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表				

後期	⑦ 漢文 項羽と劉邦「鴻門之会」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	語句の量を増やし、語彙を豊かにし、訓読のきまりについて理解を深める。 登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。	第7回	10月15日	10月3日	10月10日									
	⑧ 日記 『更級日記』『門出』 『蜻蛉日記』『汧の水』 平安時代の結婚生活のあり方について調べる・考察する	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 作品の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。	第8回	10月29日	10月17日	10月24日									
	⑨ 漢文 諸家の思想 『孟子』『老子』『莊子』 『韓非子』	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	思想を述べた文章の特徴および我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 思想を述べた文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。	第9回	11月2日	10月31日	11月7日									
	⑩ 物語 『平家物語』 「忠度の都落ち」 「能登殿の最期」 上記以外の単元も読み『平家物語』について考察する	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	作品や文章の種類とその特徴、表現の特色について理解を深める。 軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。	第10回	11月26日	11月14日	11月21日									
	⑪ 物語 『源氏物語』 「光る君誕生」 「若紫」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 歌物語と作り物語の二つの系譜を受け継ぐ長編物語を読んで、人物造形や心理描写の一端に触れる。	第11回	12月1日	11月28日	12月5日									
	⑫ 評論 『無名草子』 「紫式部」 『無名抄』 「深草の里」 『玉勝間』 「兼好法師が詞のあげつらひ」	・教科書・学習書 ・プリント ・一人1台端末の活用等	評論という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。	第12回	12月4日	12月1日	12月9日									
定期考査	後期試験 1月～2月の土曜日 試験範囲、時間割等の詳細は「一橋通信」にて発表															

※視聴メディア(NHK高校講座)については、Web学習コースのみ

学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準	
レポート評価基準	
A	設問のほとんどすべてを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して高度に発展的に思考・判断し表現できる力が認められる。
B	設問のほとんどを正答できる程度に知識・技能が定着している。また学習した知識等を応用して概ね思考・判断し、表現できている。またはAのレベルに達しているが提出期限を過ぎて提出されたもの。
C	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着している。またはBのレベルに達しているが、提出期限を過ぎて提出されたもの。
D	設問の多くを正答できる程度に知識・技能が定着しつつある。また、再提出されたレポートは、合格レベルに達していても評価が下がる。
再提出	正答が設問の合格ライン(古典探究は60%以上)に到達しておらず、再度取り組みなおす必要があるもの。また、正答率が60%以上であっても取り組み方によっては再提出となることがある。
無効	著しく学習の成果が認められない場合、無効となる。提出期限までに初回の取り組みとして提出する必要がある。

観点別評価

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
各単元の国語の知識や技能を身に着け、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	各単元の先人のものの見方や感じ方、考え方を通じ、論理的に考える力や、深く共感したりする力、想像力を伸ばそうとしている。また、自分の思いや考え方を広げたり深めたりし、伝え合う力を高めようとしている。	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

評価の方法など(前期評価・後期評価)
定期考査点とレポート評価点・スクーリングの出席や提出物点などを換算し評定は1～5の5段階で行う。 評定2以上で単位修得が認定される。 学年末の成績が著しく悪い場合は、単位修得に向けての機会を設けることがある。